

夏休みが明け、受験勉強もいよいよ本格化。子どもの志望校は、将来に関わる重要な選択。「わが子に合った学校はどうやって選ばば良いのか」と不安になる保護者も多いのでは。「個別指導キャンパス」では長年の教育現場で培ったノウハウで、子どものモチベーションを高めて成績アップ・志望校合格に導く。代表の福盛訓之さんに、志望校の選び方のアドバイスをお聞きしました。

志望校の 選び方



個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん

お問い合わせ先: (0120) 934830

「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

—保護者の中には、そもそもどうやって志望校を選んだら良いかわからないという人も

志望校を決めるポイントは2つ。「学校の特徴を踏まえて子どもが行きたいと思うか」と「合格できる学力があるのか」です。特に高校受験の場合、学力は最後の最後まで伸びますので、学力で1つに絞るのは最後で大丈夫です。まずは子どもが行きたいと思うかどうかで探し始めるのが良いでしょう。

—志望校はいくつくらい決めれば良いのでしょうか

第1志望、第2志望、第3志望と1つずつ決めるのではなく、子どもが行きたいと思う学校のうち、現状の偏差値の前後で「挑戦圏内」「合格圏内」「滑り止め圏内」と候補を挙げておくと良い

です。

—他にも、志望校選びで考えるべきことはありますか

例えば、通学時間が負担になりすぎないか気をつけましょう。また、その学校の進学実績や就職実績も見ておくのも重要で、高校や大学が最終的なゴールではありませんので、子どもが将来やりたいことや目標などを一度考えさせて、逆算して学校選びをすることも重要です。どんな学校があるか、どう逆算するべきかは、学校や塾の先生に相談すると多くの情報を得ることができます。

—学校の見学は行くべきでしょうか

必ず行くことをおすすめします。雰囲気は資料やパンフレットでは分からないので、学校の

説明会や見学に行くようにしてください。

—学校見学では何を見たら良いのでしょうか

学校の雰囲気をみてください。先生、生徒の雰囲気や部活、授業の様子は、はっきりと言葉で言えなくても、「なんとなく良い、行ってみたいか」がなんとなく好きではないかが分かります。これは実際に学校に行ってみないと分かりません。

—最終的に受験する高校はどのように選ばばよいのでしょうか

最終的には、志望校に対する学力も検討しなければいけません。その際、学校の成績表で計算する内申点が大きく関わってきます。それは学校の先生か、塾の先生に聞くのが良いでしょう。